



令和7年7月1日時点の全国都道府県市区町村別面積を公表



令和6年能登半島地震による海岸隆起の影響を反映した地理院地図

CONTENTS

1. 企画展「国土地理院と防災」を開催 2
2. 「第7回『活断層の学校』in つくば」を開催 3
3. 2025年度測地学サマースクールを開催 4
4. 「測量の日」関連行事を実施
 - 「富山県広域消防防災センタージュニア防災フェスティバル」に参加 5
5. 廿日市市の小学校で防災と地図の出前授業を実施 6
6. 「自然災害伝承碑」ウェブ地図「地理院地図」での公開数 7
7. 9月の報道発表・11月の主な行事予定 7

企画展「国土地理院と防災」を開催

国土地理院「地図と測量の科学館」(茨城県つくば市)では、特別展示室において10月21日(火)から12月21日(日)まで、企画展「国土地理院と防災」を開催します。

日本列島周辺は複数のプレートがぶつかり合うことで、地殻に複雑な力が加わり、地震が多く発生します。また、国土の75%を山地が占めており、河川は上流から河口までの距離が短く、急勾配であることから、台風や近年増加している線状降水帯による集中豪雨は、時として甚大な被害をもたらします。

国土地理院は「災害対策基本法」に基づく「指定行政機関」として、頻発する災害から国土と国民の生命・財産・暮らしを守るため、測量・地図分野の技術を活かした災害対応関連施策を推進しています。

災害が発生すると早急に測量用航空機等で現地を緊急撮影したり、衛星データを即座に解析したりすることで、被害状況や地形の変化、地殻変動の様子などを詳細に捉え、いち早く地図上に表現して、災害対策本部や関係機関に情報提供をしています。併せて、国土地理院のホームページやウェブ上の地理院地図などを通じて広く一般に公表しています。

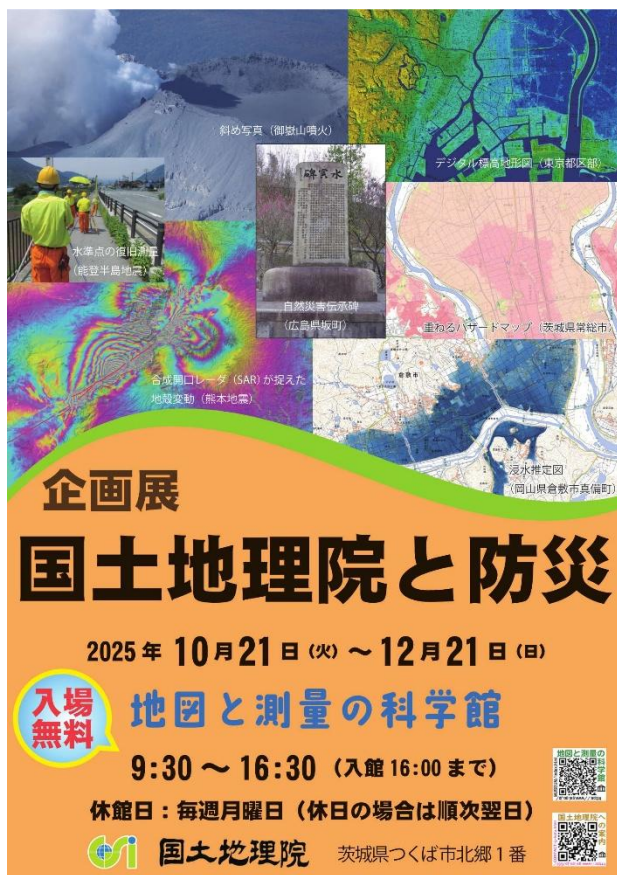
また、防災に役立つ様々な地図情報の公開や、防災・地理教育の支援も積極的に進めています。

この企画展では、国土地理院の災害対応をはじめとして防災の取組等について紹介をしています。

ぜひ、この機会に足を運んでいただき、防災意識の向上につなげていただければ幸いです。

【主な展示内容】

- 国土地理院の災害対応
- 主な地震の震源地と活火山の分布
- 災害発生メカニズム
- 災害について学ぶ
- 災害リスクを考える
- 日本列島の監視
- 国土地理院の防災・地理教育の支援 など



企画展
国土地理院と防災

2025年 10月21日(火)～12月21日(日)

入場無料 地図と測量の科学館

9:30～16:30 (入館 16:00 まで)

休館日：毎週月曜日(休日の場合は順次翌日)

国土地理院 茨城県つくば市北郷1番

併せて「地図と測量の科学館」ホームページもご覧ください。

<https://www.gsi.go.jp/MUSEUM/>



(総務部)

「第7回『活断層の学校』in つくば」を開催

9月10日に「第7回『活断層の学校』in つくば」の国土地理院の部を開催しました。

『活断層の学校』in つくばは、(一社)日本活断層学会が主催し、国土地理院、(国研)産業技術総合研究所地質調査総合センター、(国研)防災科学技術研究所が共催して、平成30年度から開催しているものです。

今年で7回目となる「『活断層の学校』in つくば」は、大学生・大学院生や社会人を対象に、9月10日から12日までの3日間、国土地理院など、つくば市内にある活断層調査・研究に関連の深い3機関において、活断層調査・研究への総合的な理解を深めてもらうことを目的として開催しました。

国土地理院では、防災・地理教育支援の取組の一環として、9月10日に実施しました。国土地理院での実施内容は、以下のとおりです。

■参加者数: 12名

■講義の内容:

講義1 宇宙から探る地下の断層～宇宙測地技術を使った地震研究の今～

講義2 「1:25,000 活断層図」～整備とその背景について～

講義3 ウェブ地図「地理院地図」を使ってみよう！

見学 地図と測量の科学館、電子基準点

講義4 活断層判読実習

午後は、地図と測量の科学館や電子基準点の見学を行い、最後に日本活断層学会の講師による活断層判読実習において、活断層がつくる断層変位地形やその判読事例から、活断層の判読方法についての理解を深めていただきました。



活断層判読実習

講義の最後に、日本活断層学会長から講評があり、国土地理院における「第7回『活断層の学校』in つくば」は終了しました。

3日間の全日程を終えたあとに実施した受講者アンケートでは、「体系的に学べ、また最前線の研究者から話を聞いた」、「活断層やその関連分野について、様々な視点から広く多くのことを学ぶことができた」などの回答が寄せられました。今後も、『活断層の学校』in つくばを共催し、将来を担う技術者の育成に積極的に取り組むとともに、国土地理院の魅力をわかりやすく伝えていきます。

(防災・地理教育支援事務局(応用地理部))



「1:25,000 活断層図」
～整備とその背景について～

午前は、日本活断層学会 ^{つみひろゆき} 堤 浩之会長及び国土地理院 ^{かわせかずしげ} 河瀬和重院長による開講挨拶に続き、国土地理院で地殻変動等を研究する地理地殻活動研究センター、活断層図の整備を担当する応用地理部、地理院地図の運用を担当する地理空間情報部の職員が講義を行いました。

2025年度測地学サマースクールを開催

国土地理院と日本測地学会は、8月25日～27日に2025年度測地学サマースクールを、国土地理院と石岡測地観測局において共同で開催しました。

日本測地学会では、次世代の人材育成及び測地学分野の普及を目的とした「測地学サマースクール」を毎年実施しています。本サマースクールでは、大学生・大学院生を主な対象とし、専門家による講義及び測量実習を通じて、測地技術や地球観測の基礎から応用までを学べる機会を提供しています。

2025年度の測地学サマースクールは、「天を測り、地を量る：“はかる”ことで見えてくる地球のすがた」をテーマに、国土地理院の研究活動に係るアウトリーチ及び社会貢献の取組の一環として共催し実施しました。

■ 参加人数

計18名（うち学部生・院生15名、社会人3名）

■ 主な講義内容

講義1「地を量るために天を測る ― 宇宙測地学への招待 ―」
大坪俊通^{おおつぽとしみち}（一橋大学）

講義2「GNSS で”はかる” 日本列島各地の変形」
大園真子^{おおその まこ}（北海道大学）

講義3「情報科学を用いた地殻変動研究 ～断層すべりモニタリングに向けて～」
加納将行^{かのうまさゆき}（東北大学）

講義4「重力観測で地球を見る」
風間卓仁^{かざまたかしと}（京都大学）

講義5「VLBIと石岡測地観測局」
石垣真史^{いしがきまさふみ}（国土地理院）

講義6「GNSS測量実習」
服部晃久・田中優介^{はっとりあきひさ たなかゆうすけ}（国土地理院）

見学 国土地理院、石岡測地観測局

班別ディスカッション・成果報告

初日の25日は国土地理院 河瀬和重^{かわせかずしげ}院長、日本測地学会 鷲谷威^{ささぎやたけし}会長の挨拶に続き、専門家による5件の講演が行われ、講演後は活発な質疑応答で理解を深めました。

26日の午前には地球ひろばの地球模型上でRTK



講義の様子

ポールを用いたGNSS測量実習を実施し、観測データから模型の半径と重心を推定する課題に取り組みました。野外実習後はセミナー室でRTKLIBによる解析を行い、午後は石岡測地観測局の講義と施設見学（VLBI局舎、重力測定室、Omni-SLR局舎）を実施しました。



集合写真

27日の午前には前日に取得したGNSSデータを用いた解析実習を4班体制で行い、半径及び重心の推定値とその誤差特性、さらに観測点の数や空間分布が推定精度に及ぼす影響について議論しました。午前の実習をもって修了証を授与し閉会しました。午後は希望者を対象に国土地理院の施設見学ツアーを実施しました。

受講生からは「大学では得がたい貴重な体験ができた」といった声が多く、大変好評でした。とりわけ石岡測地観測局での見学は好評で、質疑応答も活発に行われ、予定時間いっぱいまで続けました。

（地理地殻活動研究センター）

「測量の日」関連行事を実施

●「富山県広域消防防災センタージュニア防災フェスティバル」に参加

北陸地方測量部では、8月2日に開催された「富山県広域消防防災センタージュニア防災フェスティバル」に参加し、富山県広域消防防災センター四季防災館3階で「地図と防災パネル展」を行いました。当日は、約1800人の方にご来場いただきました。

「富山県広域消防防災センタージュニア防災フェスティバル」は、富山県と(公財)富山県消防協会が主催で開催し、北陸地方測量部は、富山市消防局他6団体と共に協力団体として参加しています。富山県広域消防防災センターの施設全体でイベントを開催し、普段見ることができない消防車両や装備の展示、様々な体験などを通して、県民の皆様に消防を身近に感じていただくとともに、消防・防災に関する意識啓発を目的としています。



入口のバルーンアーチ

北陸地方測量部のブースを設置した四季防災館は、暴風雨や地震体験など、季節ごとの災害や自然の特性を体験できる学習施設です。今回の「地図と防災パネル展」では、国土地理院の仕事や災害対応、自然災害伝承碑の地図記号など、防災関連の紹介を中心としたパネル展示やガリバー地図(概ね5m×3mの余色立体地図)の床展示のほか、チャレンジコーナー(富山県市町村パズル、3D分県パズル、ウェブ地図「地理院地図」体験)を設け、見学者に地図に親しんでいただきました。

ガリバー地図では「赤青メガネ」を使って立体的に浮き上がって見える様子に歓声があがり、自分の住んでいる場所や有名な山を探すなど、日本列島の上に立って楽しんでいただきました。

また、チャレンジコーナーでは、多くの親子連れでにぎわい、時間帯によっては順番を待つ様子も見られるなど、和やかな雰囲気の中で楽しまれました。なかでも、県名が書かれていない3D

分県パズルは大人でも難しい内容でしたが、子どもたちは果敢に挑戦し、完成させたときには、達成感に満ちた笑顔を見せていました。



フロアの様子

パズルを通じて都道府県の場所を覚えられることから、「楽しみながら地理に興味を持てる良い機会になった」という声や「思った以上に子どもが都道府県の場所と名前を覚えていて驚いた」という感想も聞かれました。



パズルに挑戦

ブースには一般参加者のほか、同じく協力団体として参加した、ガールスカウトの方々も見学に訪れ、日頃の防災学習活動の一環として展示パネルを熱心に見られていました。

北陸地方測量部では、今後とも、地域との関係を大切にし、地図や測量、防災に関する普及啓発のため、わかりやすく楽しい展示の取組を継続してまいります。

(北陸地方測量部)

廿日市市の小学校で防災と地図の出前授業を実施

9月11日、廿日市市立津田小学校にて5・6年生を対象に、自然災害伝承碑やハザードマップなど防災に役立つ地図について学ぶ出前授業を実施しました。

中国地方測量部では、広島市及び周辺の小・中学校を対象に、自然災害伝承碑と防災・地図に関する「出前授業」を行っており、今回は廿日市市立津田小学校で実施しました。

出前授業は、5・6年生全25名を対象に、2校時から4校時までの時間で、座学による学習、自然災害伝承碑の見学、様々な地図や空中写真の立体視などを体験の3つのパートに分け実施しました。

最初の座学では、日本の国土の特徴や自然災害について説明し、自然災害伝承碑やハザードマップなど防災に役立つ地図について学習しました。



座学の様子

次に学校の近くにある自然災害伝承碑を見学し、その場所の様子と地図を見ながら過去にこの場所で起こった水害を実感してもらいました。



自然災害伝承碑見学の様子

碑の正面には「水害碑」、裏には「大正十四年九月一日前十一時コノマデ増水ス」と刻まれ、この地域を流れる小瀬川(木野川)の大洪水を、学区内の浅原地区にある2基の水害碑とともに伝えています。



水害碑(廿日市市津田)

最後に赤青メガネで立体的に見える地図や学校周辺の新旧地形図、伊能図などの様々な地図を見たり、空中写真を立体視する体験を通して地図に親しんでもらいました。

児童からは、「伝承碑がある場所まで川の水が来たことを実感できた」「普段自分たちが遊んでいる川に災害の危険があることを知って驚いた」や、「空中写真が立体に見えて驚いた」などの感想が寄せられました。

当日は新聞・テレビの取材もあり、担当職員が災害伝承の重要性を説明しました。



インタビューに答える山賀事務官

中国地方測量部では今後も取組を継続し、防災・地理教育支援の一環として出前授業の実施を進めてまいります。

(中国地方測量部)

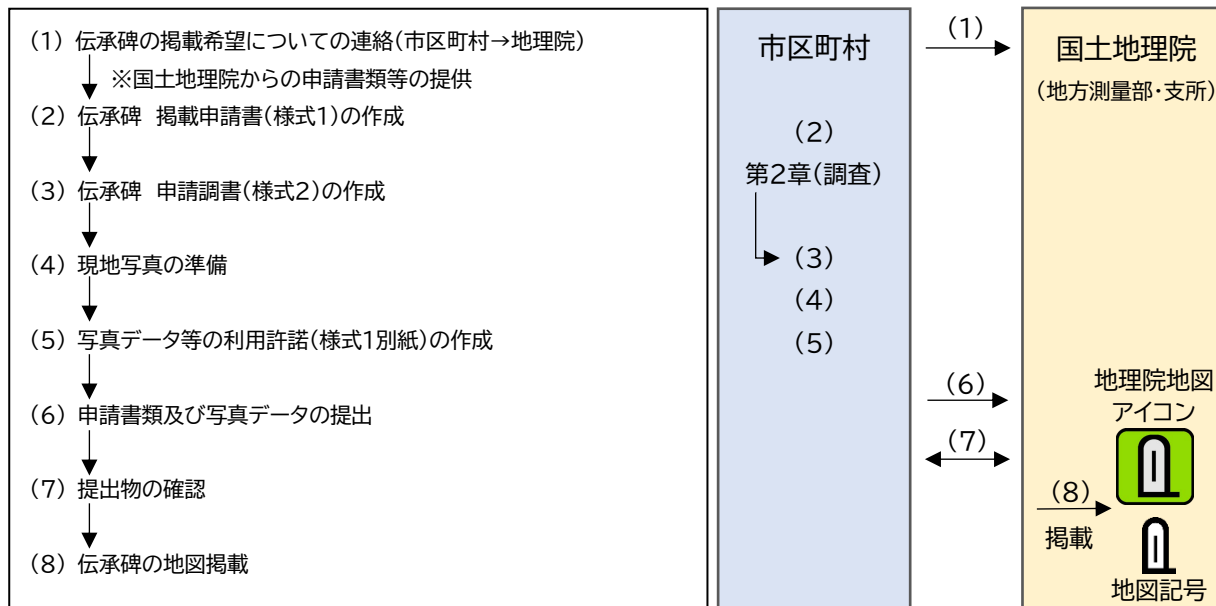
○「自然災害伝承碑」ウェブ地図「地理院地図」での公開数

令和7年10月24日現在

47	都道府県	666	市区町村	2384	基
----	------	-----	------	------	---

詳細については、自然災害伝承碑のページ(<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi>)をご覧ください。
[市区町村の担当者の皆様へ]自然災害伝承碑に関する当院への情報提供にご協力をお願いいたします。

自然災害伝承碑の申請の流れ



様式や手続きの詳細は「自然災害伝承碑に係る調査業務 実施の手引き 第6版(令和6年3月)」
(https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi_info.html)をご覧ください。

○9月の報道発表

発表日	件名	担当部署
5日	「廿日市市の小学校で防災と地図の出前授業を実施」 ～自然災害伝承碑やハザードマップを学び自然災害に備えよう～	中国地方測量部
8日	関西G空間フォーラム2025を開催 ～未来へ繋ぐ、地理空間情報の利活用の可能性と将来展望～	近畿地方測量部
8日	令和7年8月の地殻変動	測地部 測地観測センター 地理地殻活動研究センター
25日	「自然災害伝承碑」を未来の防災にどう活かしていくか？！ ～国土交通省リレー講演会～	中国地方測量部
26日	令和7年7月1日時点の全国都道府県市区町村別面積を公表 ～能登半島地震による面積変動を反映～	基本図情報部

報道の内容は、国土地理院ホームページ>2025年 報道発表資料一覧
(<https://www.gsi.go.jp/WNEW/PRESS-RELEASE/press-2025.html>)をご覧ください。

○11月の主な行事予定

月日	行事
10/21～ 12/21	地図と測量の科学館 企画展「国土地理院と防災」
11/1	地図と測量の科学館 「測量用航空機くにかぜ機内公開」 「日本列島地図一筆描き」イベント
11/27	第249回地震予知連絡会

国土地理院広報は、
国土地理院ホームページ>広報誌>国土地理院広報
(<https://www.gsi.go.jp/WNEW/koohou/>)に掲載しています。

発行 **国土交通省国土地理院**
Geospatial Information Authority of Japan

〒305-0811 茨城県つくば市北郷 1 番
TEL 029-864-6255
FAX 029-864-6441

連絡先: 総務部広報広聴室
国土地理院ホームページ
<https://www.gsi.go.jp/>